

日本政府観光局（JNTO） マレーシア訪日旅行市場動向レポート

MATTA KL 2023 (9月) & MATTA KL 2024 (3月)
VJブース訪問者アンケート結果

アンケート概要

実施日：①2023年9月6日～8日 ②2024年3月22日～24日

対象者：マレーシア最大級の旅行博、MATTA Fairクアラルンプールにおける
VJブースの来場者

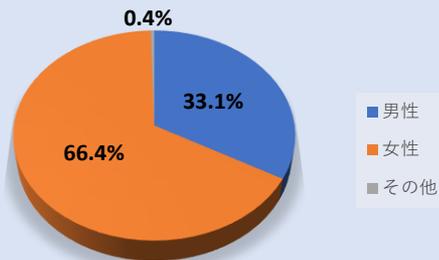
有効回答数：①670名 ②507名



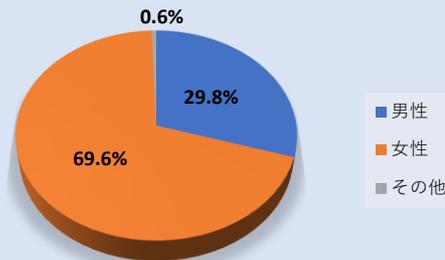
MATTA KL 2023 (9月) (n=670)

MATTA KL 2024 (3月) (n=507)

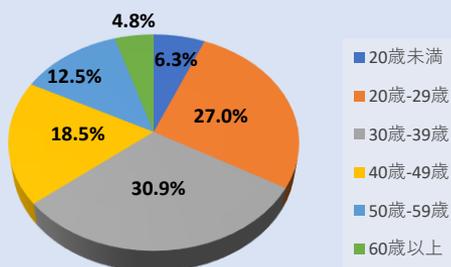
性別



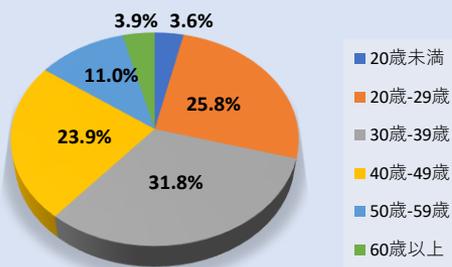
性別



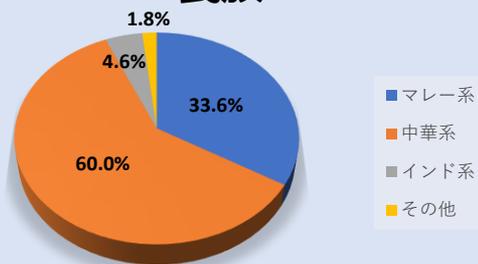
年齢



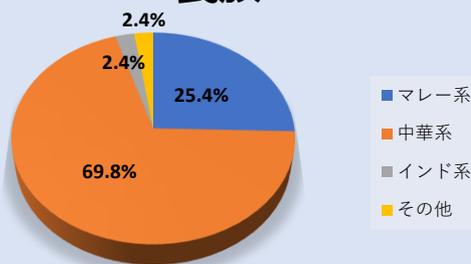
年齢



民族



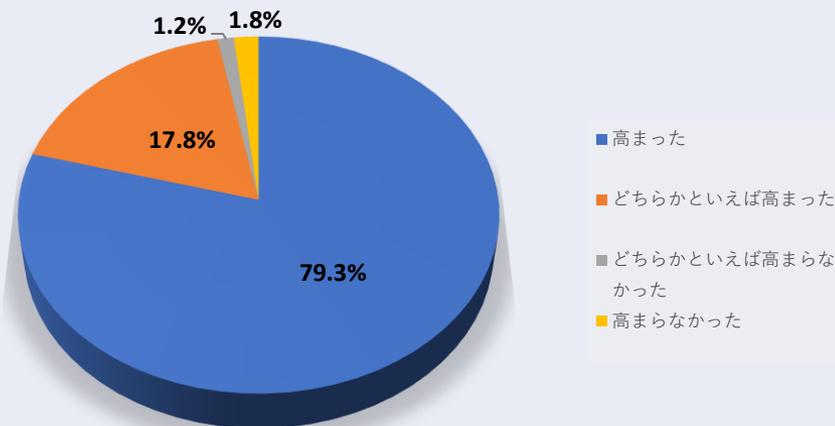
民族



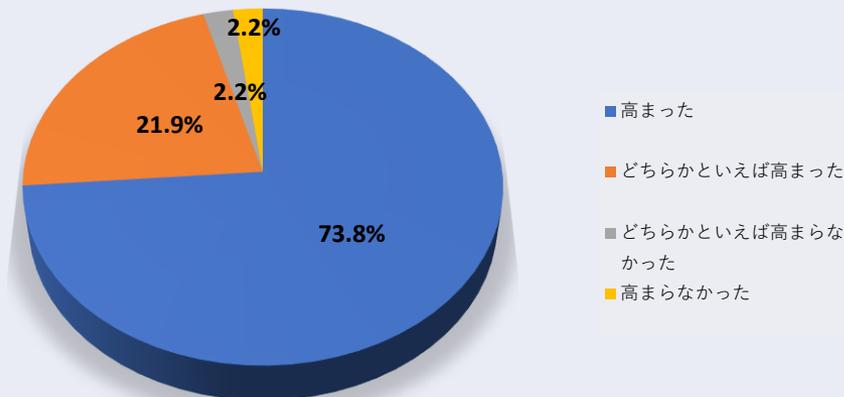
- MATTA Fairは旅行の即売イベントのため、実際に旅行を計画している人が来場する。
- 女性が男性より旅行をしたがる傾向があり、家庭の旅行計画を立てる人でもある。
- 年齢層を見ると、20代-40代が多く、一定の可処分所得がありよく旅行をする人である。
- 2024年3月の回答者ではマレー系の数が少し下がったが、これは当時がムスリム教徒の断食月であることに関係があると思われる。

日本ブースでの情報提供や展示により、日本への訪問意欲は高まりましたか。

MATTA KL 2023 (9月) (n=670)



MATTA KL 2024 (3月) (n=507)



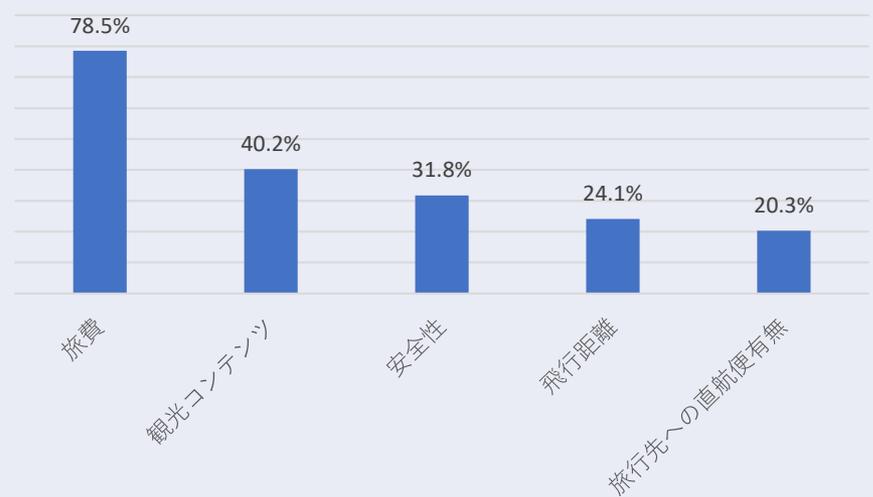
- 8割程度の回答者が日本ブースでの情報収集後、より日本への訪問意欲は高まった。
- 回答の理由に最も多く記載されているのは下記の2点：
 - ブースで提供された紙パンフレットの提供に満足。
 - 案内スタッフとの対面相談により、今後の訪日旅行に対する不安が払拭された。
- 3月は“高まった”の回答数が少し減ったが、3月出展はJNTOの単独出展であったため、日本側の共同出展者がいなく、ブースのサイズも前年の9月より小さい結果だと考えられる。

海外旅行先を選定する際に、優先する要素は何か。

MATTA KL 2023 (9月) (n=670)



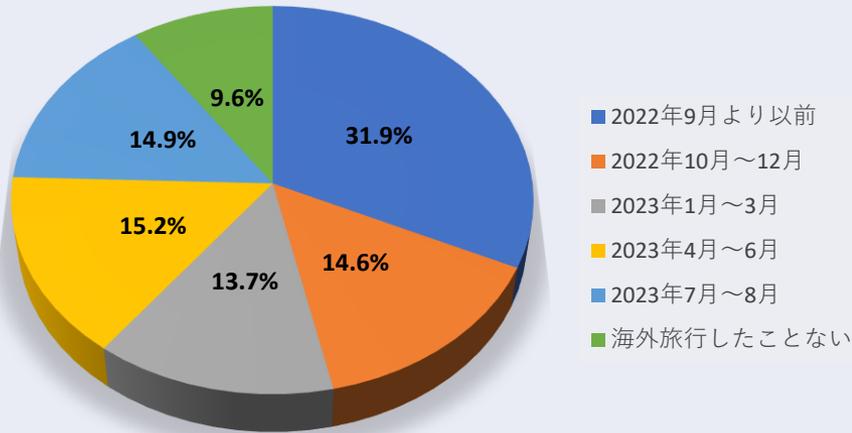
MATTA KL 2024 (3月) (n=507)



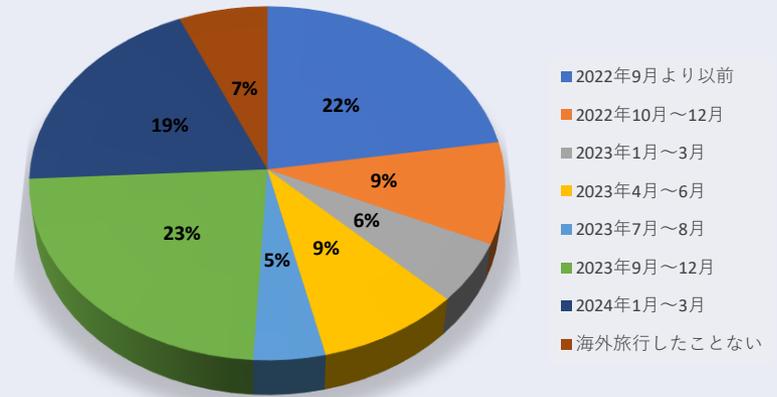
- マレーシア人の最も優先したい要素は旅費である。その次に、観光コンテンツと安全性も旅行先の選定に影響するポイントである。
- 約20%の回答者は旅行先への直航便有無も旅行先選定において重要な要素であると回答。

前回の海外旅行時期

MATTA KL 2023 (9月) (n=670)



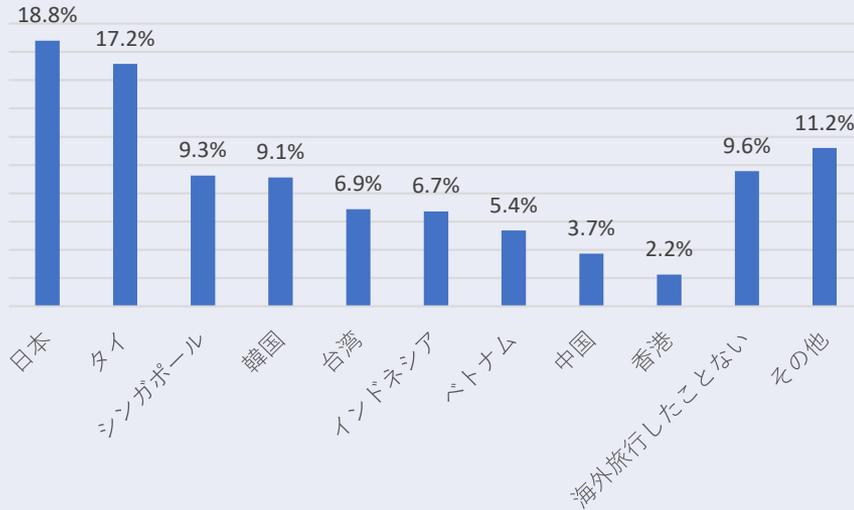
MATTA KL 2024 (3月) (n=507)



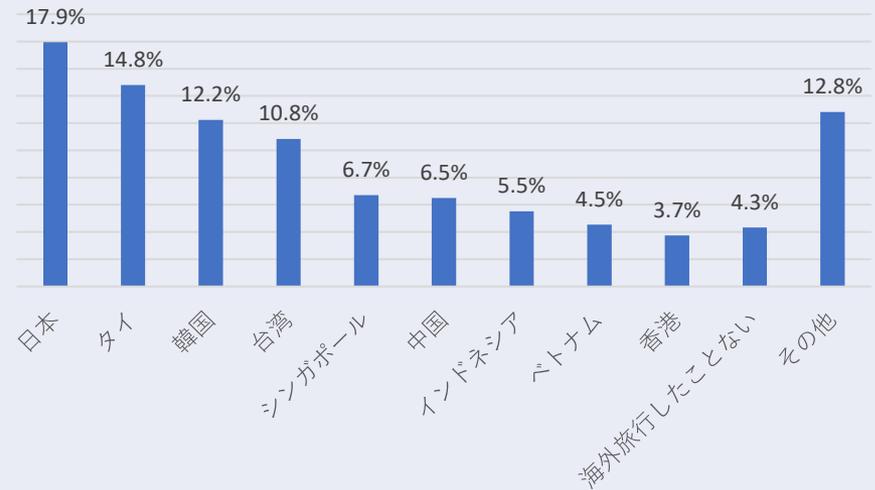
- 9月も3月も、6割近くの人が直近一年間で海外旅行に行っている。
- 約9割の回答者は海外旅行の経験があり、海外旅行の未経験者は1割未満。
- 上記の図からマレーシアの海外旅行市場は大きく、ポテンシャルがある。

前回の海外旅行先

MATTA KL 2023 (9月) (n=670)



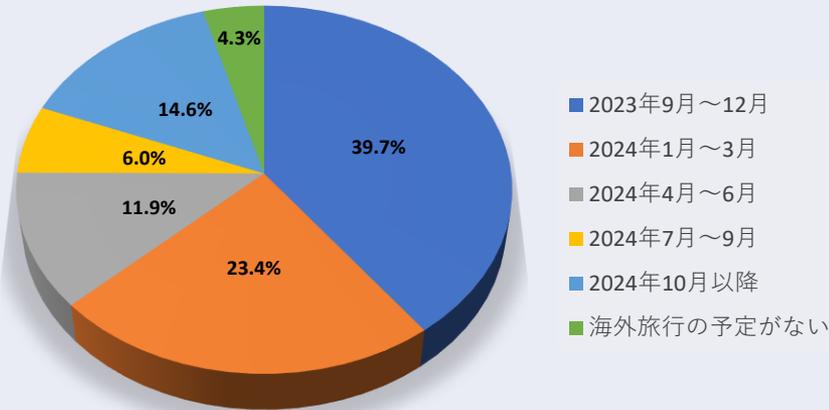
MATTA KL 2024 (3月) (n=507)



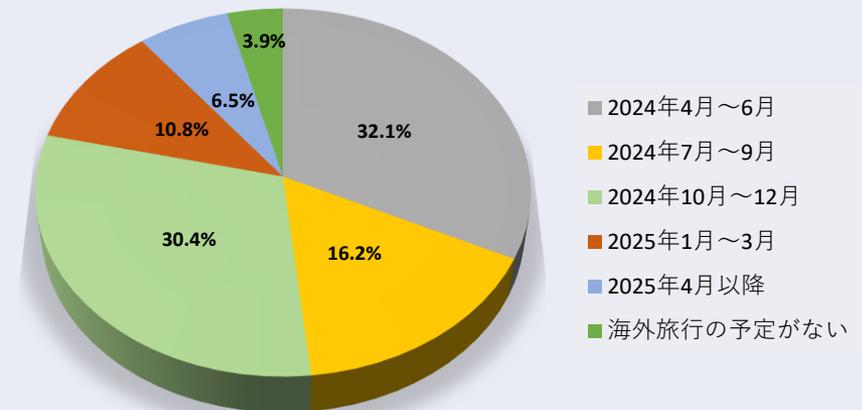
- 二回の結果を見ると、マレーシアでは欧米諸国よりアジア諸国のほうが人気がある。
- 回答者はVJブース来訪者ということもあり、約2割が前回の海外旅行先は日本であった。マレーシア人にとって、日本はアジア諸国の中で最も人気の旅行先の一つである。日本以外だと、タイが一番人気であった。比較的、旅費が安価なタイよりも日本が人気である理由の一つはVJブース訪問者の多くが日本愛好者か日本の文化や体験に強い興味を持っている人であるためと言える。

次の海外旅行時期

MATTA KL 2023 (9月) (n=670)



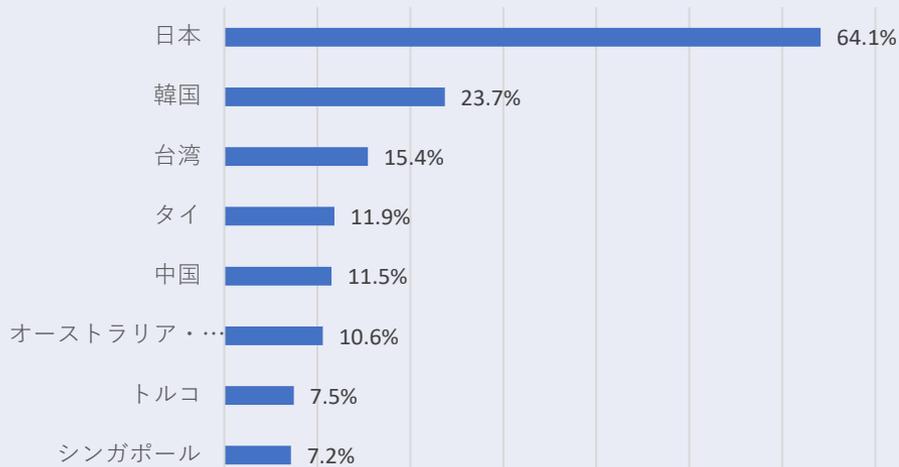
MATTA KL 2024 (3月) (n=507)



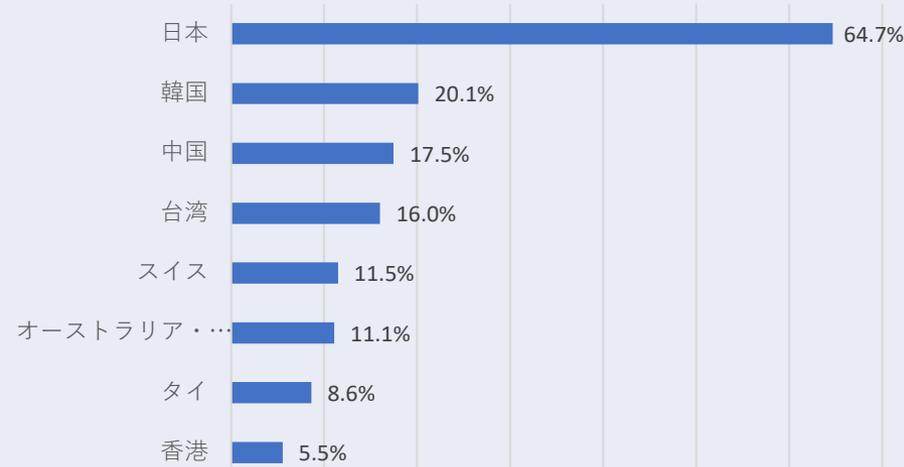
- 9月の結果として、約6割の回答者は次の海外旅行を2023年9月と2024年3月の間に計画していた。該当の期間中に2回の学校休暇（12月の年末休暇と2月の旧正月休暇）があり、マレーシア人にとって家族旅行に最適な期間である。
- 一方で、右図によると、約6割の人が次の海外旅行を2024年の4月～6月、10月～12月に計画している。これは、2024年の4月はハリラヤ休暇で、12月は年末休暇であることや、春の桜や秋の紅葉などの季節コンテンツの人気の影響していると推察される。
- 海外旅行の予定がないマレーシア人は4%程度。

次に行きたい海外旅行先

MATTA KL 2023 (9月) (n=670)



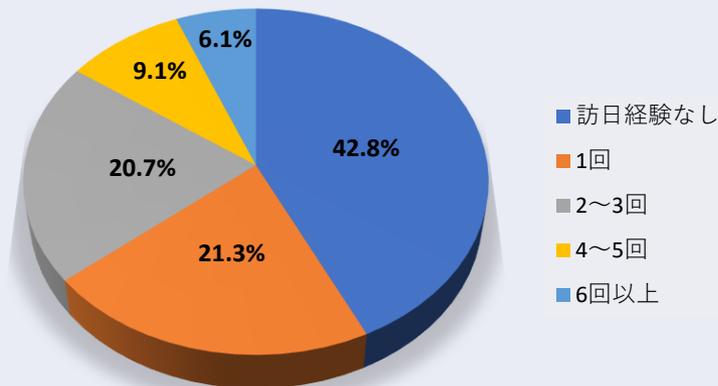
MATTA KL 2024 (3月) (n=507)



- 大半のマレーシア人は次の海外旅行に日本を訪問したいと回答した。（P7同様にVJブース来場者の回答である点に留意）
- 韓国、台湾、タイとオーストラリア・ニュージーランドはマレーシア人の旅行先候補である。
- 2023年9月から2024年3月の間に、興味関心度が多く上がった旅行先は中国で、2023年12月に中国・マレーシア間で開始されたビザ免除政策による結果だとみられる。

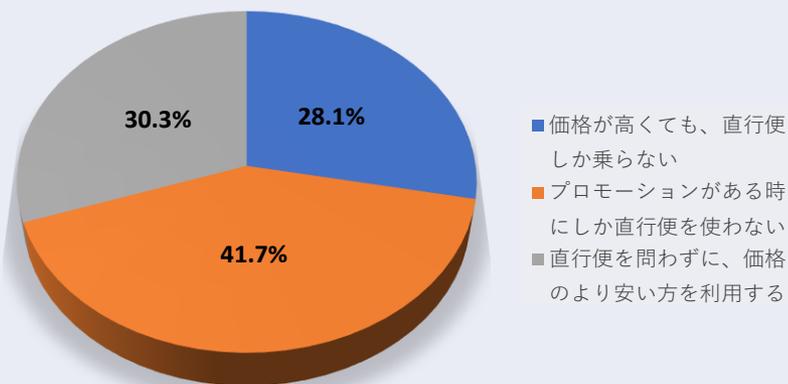
訪日経験

MATTA KL 2024 (3月) (n=507)



直行便に対する意向調査

MATTA KL 2023 (9月) (n=641)

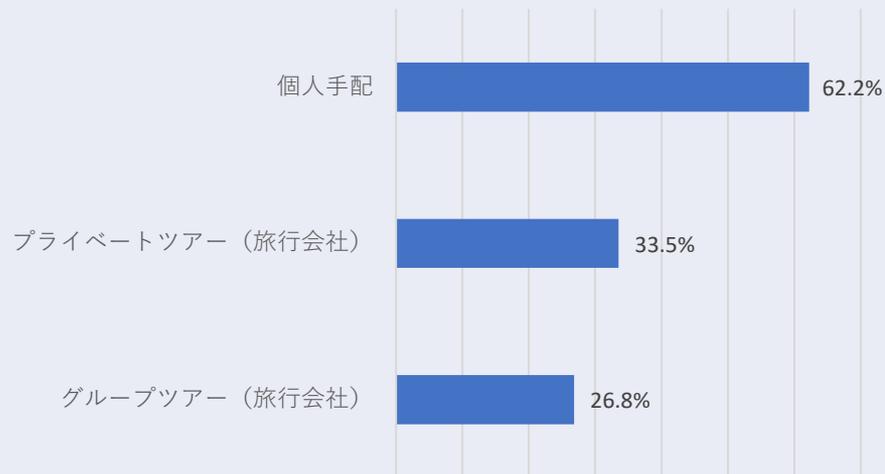


- 42.8%の回答者は訪日経験がないが、将来的にポテンシャルのある旅行者である。

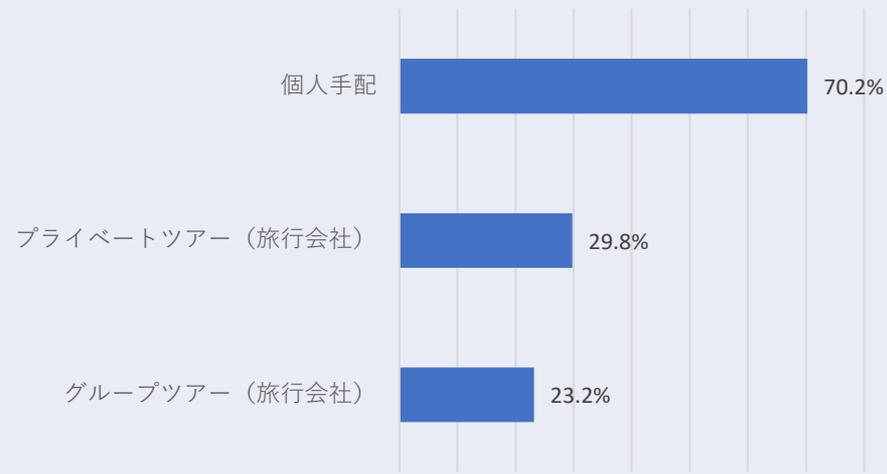
- 旅行先への移動手段として、大半の回答者はプロモーションがあれば、直行便を利用すると回答した。他に、28.1%の人は価格が高くて、直行便を利用する。
- マレーシア人の直行便に対する需要は未だに高いが、航空価格の高騰を懸念する人も多い。

好む旅行形態

MATTA KL 2023 (9月) (n=641)



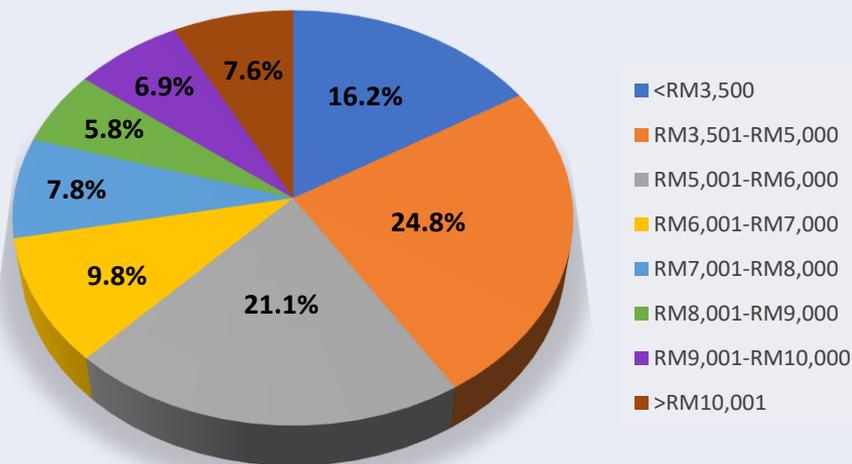
MATTA KL 2024 (3月) (n=487)



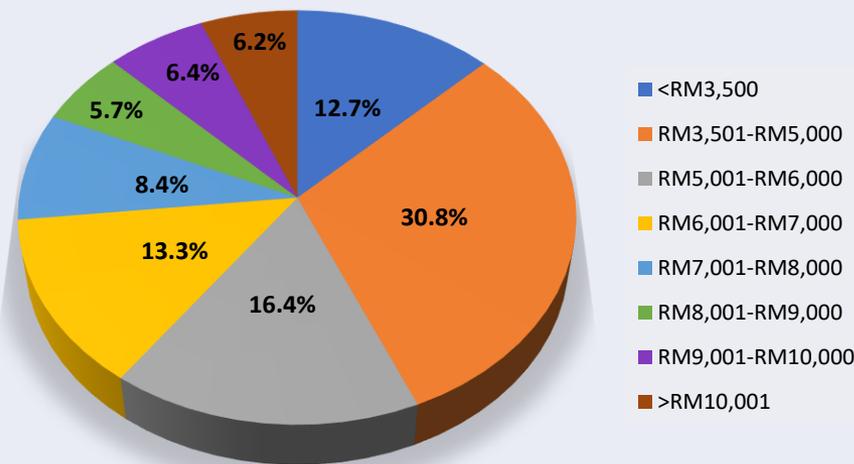
- 9月には、6割の回答者は訪日旅行の際に、個人旅行を好んでおり、3月には個人旅行が良いと回答した人が7割に増えた。自由回答に記載された一番の理由として、個人手配はグループツアーより柔軟に時間配分ができるからである。
- 現在より多くの人々が個人旅行を選んでいるが、旅行会社手配ツアーに対する需要もまだ一定数ある。

訪日旅行を計画する際の予算（航空券込み）

MATTA KL 2023 (9月) (n=641)



MATTA KL 2024 (3月) (n=487)



- 約6割の回答者は訪日旅行の旅費をRM3,501~RM6,000で想定しているが、現在一般の日本ツアーパッケージの価格はRM6,000~RM9,000で販売されている。
- 3月のデータを見れば、約4割の旅行者はRM 5,000以下が予算と回答。考えられる理由としては、これらの旅行者は訪日経験がないもしくはコロナ後に訪日していない旅行者で、現在の旅費について知らない可能性がある。

将来的に訪問してみたい日本の旅行先

MATTA KL 2023 (9月) (n=641)



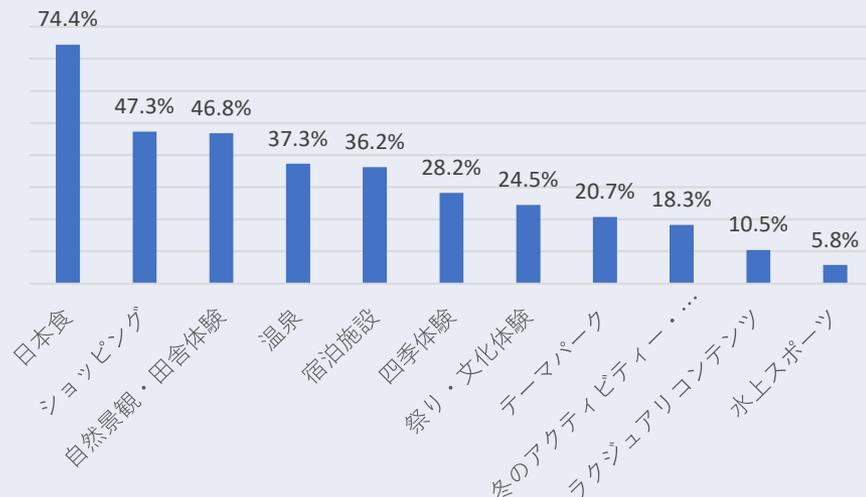
MATTA KL 2024 (3月) (n=487)



- マレーシアでは体験できない雪景色、冬のアクティビティとラベンダー観賞により、北海道はマレーシア人の中で最も訪れたい旅行先である。
- 関西と関東地方は相変わらず2位と3位の座を維持している。他に注目される旅行先は東北と九州。
- 北陸信越エリアは2024年に入ってから全体の中で順位を上げている。能登地震以降、復興計画の一環として、該当エリアの観光コンテンツをより多くSNSで発信したことや、アルペンルートの人気が高まってきていることも要因と考えられる。

訪日旅行で期待すること

MATTA KL September 2023 (n=641)



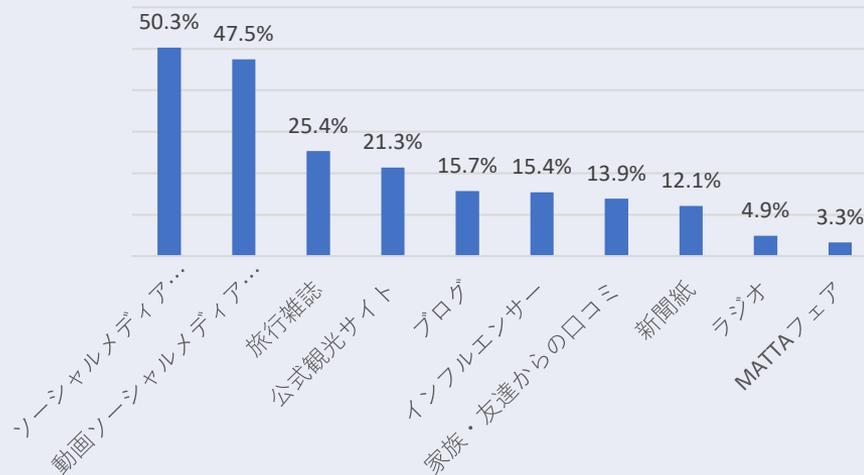
MATTA KL March 2024 (n=487)



- 上記の図を見ると、マレーシア人が好きな観光コンテンツは同様で、人気観光コンテンツの上位は変わらず「日本食」「ショッピング」「自然景観」である。
- マレーシア人は日本食に対する期待が非常に高いため、モデルコースや記事に現地グルメの情報を含めれば、良いアピールポイントになる。

観光情報を収集する際の情報源

MATTA KL 2023 (9月) (n=670)



MATTA KL 2024 (3月) (n=507)



- 9月のアンケートによると、約5割の回答者はFacebookやInstagramのようなソーシャルメディアから観光情報（施設情報、旅行の注意事項など）を収集している。
- 3月のアンケートでさらにソーシャルメディアを細分化したところ、マレーシア人が観光情報を収集する際によく使われるのは「Facebook」「Instagram」「Youtube」であることが分かった。
- ソーシャルメディア以外に、旅行雑誌と公式観光サイトもよく活用される観光情報源である。

全体的な旅行傾向

- マレーシア人旅行者の年代は可処分所得が比較的高い20代～40代が多い。
- 日本と韓国以外では、近隣の国・地域（タイ、台湾、シンガポールや中国）への旅行がより好まれる。
中でも中国は中国マレーシア間の査証免除の影響で、最近人気が急上昇している。
- 約5割のマレーシア人は出発の6か月前から海外旅行の計画を立てる。
- 「Facebook」「Instagram」「Youtube」はマレーシアで一番人気な観光情報源である。

訪日旅行傾向

- 日本は変わらずマレーシア人旅行者にとって人気の海外旅行先である。
- 旅行手配の方法は個人旅行が人気だが、旅行会社手配に対する需要も一定数ある。最近、プライベートツアーの需要は一般的なグループツアーより増加している。
- 「北海道」「関西」「関東」は変わらずマレーシアの中で人気の旅行先である。最近、東北と九州エリアに対する興味関心度も上がっている。
- 「日本食」「ショッピング」「自然景観」も変わらず訪日旅行の3大人気要素である。